

5. 学生支援

5.1 概況

学部・学科の在籍学生数

平成27年5月1日現在

学 部	学 科	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			合 計		
		男	女	小計	男	女	合計									
理工学部	1年生	153	20	173	-	-	-	-	-	-	-	-	-	153	20	173
総合光科学部		19	0	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	0	19
総合光科学部	バイオ・マテリアル学科	-	-	-	50	6	56	37	4	41	38	10	48	125	20	145
	光システム学科	-	-	-	47	6	53	74	6	80	62	3	65	183	15	198
	グローバルシステムデザイン学科	-	-	-	53	2	55	47	3	50	67	11	78	167	16	183
合 計		172	20	192	150	14	164	158	13	171	167	24	191	647	71	718

※1年次修了時に学科配属を行います。

大学院研究科の在籍学生数

平成27年5月1日現在

研究科	専 攻	課 程	第1学年			第2学年			第3学年			合 計		
			男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	合計
光科学研究科	光科学専攻	博士前期課程	12	2	14	15	3	18	-	-	-	27	5	32
		博士後期課程	2	0	2	0	0	0	3	2	5	5	2	7

5.2 奨学金

平成 27 年度各奨学金採用状況は次のとおりです。

・日本学生支援機構奨学金

学 種	貸与種別	予 約	在 学	追 加	緊急・ 応急	臨 時	平成 27 年度 採用計	平成 26 年度 採用実績
学 部	第一種	19	14	0	0	0	33	23
	第二種	57	30	0	0	2	89	66
大学院	第一種	4	4	3	0	0	11	6
	第二種	1	2	0	0	0	3	1

・千歳科学技術大学奨学金

学 種	採用人数
学 部	2
大学院	5

・大学院研究援助金

種 別	採用件数
国 内	11
国 外	6

・その他の奨学金

奨学金名	貸与・給付	学 種	採用人数
慶応工学会奨学金	給付	大学院	1
札幌市奨学金	給付	学部	1
		大学院	1

5.3 学生相談

平成 27 年度の学生相談利用状況は次のとおりです。

担 当 者 心理カウンセラー2名、相談員（元特別支援学校校長）1名

相談回数 127 回（週 3 回、1 回 5 時間）

相談件数 321 件（実人数 39 人） 1 回平均 2.5 人

◆利用者数（件）

	1 年	2 年	3 年	4 年	院 生	その他	合計	(実人数)
平成 27 年度	96	89	11	118	5	2	321	(39)
平成 26 年度	92	36	144	115	22	19	428	(42)

※その他には、卒業生、教員、保護者等が含まれます。

◆月別利用者数（件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	32	20	37	30	12	29	37	33	37	19	21	14	321

5. 学生支援

男女各1名の臨床心理士の他に、発達障害について悩んでいる学生の相談が増加していることから、平成25年度より、元特別支援学校校長経験を有する相談員を加え、3名で様々な相談内容に対応している。

5.4 健康相談

平成27年度の健康相談利用状況は次のとおりです。

担当者 学校医

相談回数 28回（休業期間を除き原則月に2～3回実施、1回2時間）

相談件数 47件（実人数45人） 1回平均1.7人

◆利用者数（件）

	1年	2年	3年	4年	院生	不明	合計
平成27年度	13	11	12	9	2	1	47
平成26年度	7	6	5	23	4	0	45

◆月別利用者数（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	17	13	1	3	夏期 休業	2	6	5	0	0	0	春期 休業	47

健康相談では、学校医による相談の機会を設け、健康上の悩みを持つ学生のカウンセリングを含めた指導を行っています。

5.5 困りごと相談（障害学生支援含等）

平成27年度の困りごと相談利用状況は次のとおりです。

担当者 相談員（元特別支援学校校長）

相談回数 27回（休業期間を除き原則月に2～3回実施、1回2時間）

相談件数 45件（実人数27人） 1回平均1.7人

◆利用者数（件）

	1年	2年	3年	4年	院生	その他	合計
平成27年度	7	17	3	14	1	13	55

その他には、TA、教員、保護者等が含まれます。

◆月別利用者数（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	7	4	5	5	4	4	3	3	0	9	7	4	55

発達障害について悩んでいる学生の相談が増加していることから、平成27年度より、学

習面を含む「大学生活の困りごと」に対し、具体的にサポートすることを主な目的として相談窓口を開設しました。

5.6 クラスアドバイザー

平成19年度より、1～3学年についてクラスアドバイザー制度を導入し、出席状況調査等に基づいて、必要な学生には状況の確認や相談に応じるなどの支援を行っています。特に、1学年については、1名の教員が4～5名の学生を担当し、4月の1学年交流会への参加、各学期中の個別面談を行うほか、グループでのレクリエーションを実施するなど交流機会を設け、友達づくりの支援にも努めています。平成23年度からは、アドバイザーと学生および学生同士のつながりをより強くすることを目的として、1学年必修科目の一つを利用したグループ学習を行っています。

5.7 1学年交流会

平成26年4月2日（水）午後1時15分から午後4時30分まで、『1学年交流会』を開催しました。開催内容は次のとおりです。

- ①オリエンテーション
- ②グループワーク（工作とコンテスト）
- ③クラブ・サークル紹介

この事業は、1学年を対象として、友達づくりに主眼を置いて実施しています。入学して早い時期に新しい友達をつくることによって、孤立した学生、引きこもりがちな学生の減少、さらには休学者、退学者の減少につなげることがねらいで、平成22年度からは入学後のオリエンテーションの初日に行っています。

また、クラスアドバイザーはこの機会に学生との連絡手段を確認し、今後のサポートにつなげます。

交流会では、共同作業を通じて初対面の学生と話すきっかけができ、終了後に行ったアンケート結果では、グループワークについて「楽しかった」という回答が96.4%得られ、理由として「楽しく作業ができた」「交流を深めることができた」「意見交換ができた」などが挙げられました。

また、クラブ・サークル紹介についても、88.1%が「楽しかった」と回答しています。

5.8 学生団体の活動

本学の学生団体は、平成28年3月31日現在、学生会（学生会執行委員会、稜輝祭実行委員会、卒業記念事業委員会）のほか「部」12団体と「サークル」23団体があり、延べ550名以上の学生が活動を行いました。学生会および「部」に対しては、課外活動の活発化を

目的として、総額約 270 万円の学生活動補助金を交付しました。また、学生活動補助金以外にも、「部」が学外の施設を利用して課外活動をする場合、使用料金の一部を補助しています。

学生団体一覧（カッコ内は顧問教員）

学 生 会：学生会執行委員会、稜輝祭実行委員会、卒業記念事業委員会

部（体育系）：バスケットボール部（山中）、硬式テニス部（山林）、弓道部（Karthus）、フットサル部（田口）、大東流合気柔術部（長谷川）、YOSAKOI ソーラン部（小田（久））、野球部（谷尾）、卓球部（坂井）、バドミントン部（吉田）、ストリートダンス部（小林（大））

部（文化系）：軽音楽部（大越）、写真部（石田（雪））

サークル：都山流尺八サークル、理工工房（長谷川）、女子バスケットボールサークル、ソフトテニスサークル、テーブルゲームサークル、TGC サークル、にこにこだんすサークル、エコサークル（福田）、情報技術サークル、CCC(CIST Cycling Circle)（Karthus）、サバイバルゲームサークル（福田）、アーチェリーサークル、菜園サークル、美術文学サークル、数研サークル（福田）、麻雀サークル、天文学サークル（梅村）、航空研究会（小林（大））、Ingress サークル、動画制作サークル、ライトアート工房（青木）、LTサークル

主な活動実績（大会入賞など）

○学生会（学生会執行委員会、稜輝祭実行委員会、卒業記念事業委員会）

- ・ペットボトルキャップの回収活動、稜輝祭開催、卒業記念謝恩パーティー開催

○YOSAKOI ソーラン部

- ・第24回 YOSAKOI ソーラン祭り

【優秀賞 セミファイナル3位】

- ・第25回石狩川フェスティバル 水祭 YOSAKOI 王座決定戦

【王座（優勝）】

- ・第17回 YOSAKOI ソーラン祭り 上川中央支部大会

【大賞（優勝）】

○軟式野球部

- ・春季リーグ

【3部リーグ2位（4勝2負）】

○卓球部

- ・第70国民体育大会卓球競技北海道予選会千歳支部予選
成年男子シングルス

【ベスト4 島山 悌】

○バドミントン部

5. 学生支援

- ・第57回北海道学生バドミントン秋季リーグ戦大会

男子4部リーグ

【団体戦2位】

○ストリートダンス部

- ・千歳市立富丘中学校ダンス指導ボランティア

○写真部

- ・大学案内サブパンフレット用写真撮影会

○理科工房

- ・タカトシ牧場ガーデンプロジェクト 自転車発電
- ・平成27年度恵庭市環境・エネルギー展 参加
- ・市民公開講座「理科工房のサイエンスショー」

○CCC(CIST Cycling Circle)

- ・全日本ママチャリ12時間耐久レース

千歳科学技術大学 CCC-A チーム

【クラス別 18位・111チーム】

○数検サークル

- ・数学検定合格者

【2級：1名】

5.9 学生チャレンジプログラム

学生が主体的に行う活動を資金面で支援するために、「学生チャレンジプログラム」の募集を行っています。

支援対象活動は、学生全体を対象とした新たな学内イベントの創出や、社会・地域貢献活動、部昇格など学生団体の継続的な活性化を目的とした取り組みなどに対して、計画書を提出してもらい、その内容を審査の上補助を行う「学生生活貢献部門」と、社会的ニーズを踏まえた（貢献した）コンテンツ及びシステム開発を行った学生チームや個人に対して、その成果を審査した上で奨励する「情報メディア貢献部門」の2部門を支援対象としています。支援額は、学生生活貢献部門1件100万円以内、情報メディア部門1件10万円以内としています。

平成27年度に採択された取り組みは以下のとおりです。

支援対象活動	応募者・応募団体	応募テーマ
学生生活貢献部門	LTサークル	LTゲスト学生の交通費及び運営の補助
	学生有志（4名）	子供情報教育企画
	ライトアート工房	光アートによる千歳市並びに道央地区の文化振興

支援対象活動	応募者・応募団体	応募テーマ
情報メディア貢献部門	亀谷 和義(グローバルシステムデザイン学科3年)	YOSAKOI ソーラン部 会計管理システムの開発

5.10 大学祭の開催

第17回稜輝祭は、稜輝祭実行委員会の主催により、平成27年9月13日(日)に本学キャンパスで開催されました。

今回は、ご来場いただいた全ての方を楽しませたいという思いを込め、『AMUSE』をテーマに開催いたしました。

各部・サークルや研究室による模擬店、YOSAKOI ソーラン部による演舞をはじめ、学生団体によるイベント、縁日、移動動物園や大画面を使用したゲーム大会などお子さま向けのイベントあり、ご家族で楽しめる姿が多くみられました。

さらに、「流れ星」「花香よしあき」によるお笑いライブで会場の熱気は最高潮に達しました。

5.11 交通安全指導

本学では交通事故防止と交通安全意識の向上を目的として、毎年千歳警察署から講師を招き交通安全講習会を実施しています。本年度は平成27年4月15日(水)、17日(金)の2回実施し、55名の学生が受講しました。

本年度の車両通学許可者数(延べ)は、学部2年7名、3年1名、4年18名、大学院博士前期課程1年6名、2年1名です。なお、本学では車両通学の申請を行って許可を得た(車両通学許可証を持っている)学生にのみ車両通学を許可しています。

5.12 父母懇談会の開催

平成27年10月3日(土)午前10時から午後4時まで、本学を会場として第10回父母懇談会を開催しました。開催内容は次のとおりです。

- ①全体説明会(学長挨拶・学部長全体説明・就職について)
- ②初年次教育について、学科教育について
- ③大学院紹介および大学院生発表、確かな学びと充実した学生生活をめざして
- ④学習・生活個別相談(担当教職員が個別に学習・生活などに関する相談に応じる)
- ⑤就職セミナー(企業担当者による講演、就職に関する個別相談、内定学生による就活体験報告会)

平成27年度は120名の参加があり、実施後のアンケートにおいては、「手厚い支援体制に感謝しています。この大学に入学させてよかったと感じています」「先生方が一人一人の

学生を普段から見て下さり、大学生生活の現状を知ることができました」、などの感想をいただきました。

5.13 学生の受賞等

・佐々木記念賞

この賞は、本学の開学に尽力した初代学長 佐々木敬介教授（1936～1998）の偉業を称え、平成 10 年に創設されました。学業成績優秀な学部 4 年生および学術・研究に関し成績優秀または顕著な業績があった大学院生を表彰するものです。平成 27 年度は、学位記授与式において、賞状と副賞が授与されました。

<大学院>

山崎 美奈（博士前期課程 2 年）

水本 朔（博士前期課程 2 年）

<学部>

品川 政寛（バイオ・マテリアル学科 4 年）

脇本 諒（バイオ・マテリアル学科 4 年）

熊谷 圭祐（光システム学科 4 年）

荘司 晃久（光システム学科 4 年）

藤井 佑梨奈（グローバルシステムデザイン学科 4 年）

上原 雄太（グローバルシステムデザイン学科 4 年）

・学生表彰

この賞は、在学中に善行があった学生を表彰するものです。平成 27 年度の受賞者は次のとおりです。受賞者には、賞状と副賞が授与されました。

<優良賞>

荒川 卓巳（バイオ・マテリアル学科 2 年）

<善行賞>

該当者なし